

JA だより みづま

2023
2月号
No.466

三潆町農業協同組合



イチゴ生産者 西田伸さん



www.ja-mizuma.or.jp

新規就農3年目 イチゴ生産者 西田伸さん

新規就農でイチゴの生産を始めて3年目を迎える西田伸さんをご紹介します。
西田さんは就農に先立ち1年間、先輩イチゴ農家のもとで栽培方法や技術を学び、令和2年よりイチゴの栽培を始めました。市やJAで組織する「久留米市担い手育成総合支援協議会」から新規就農を行うための支援を受け、現在約16アールの作付けを行っています。

〈心掛けていること〉

自分一人で悩まない事です。分からない事があれば先輩方やJA、普及指導センターから丁寧に教えていただけるので、悩まずに相談するようにしています。
また、体調管理についても気を付けています。体調を崩して作業が出来なくなると困るので、頑張りすぎないように心掛けています。

〈農業を始めて良かったこと〉

家族との時間が増えたことです。農業をする前は会社に勤めていましたが、自由な時間があまり取れずにいました。農業を始めてからは、作業や休みを自分で決められることが多く、休みの日は家族と過ごしています。子どもたちから「イチゴとても美味しい」と言われると励みになり、農業を始めて良かったと実感します。

〈今後の抱負〉

栽培面積を維持しつつ、技術を高め、高品質なイチゴを安定して出荷していきたいです。多くの消費者に喜んでいただけるようにこれからも努力していきます。



子育て支援積金



期間：R5年2月1日～R5年3月31日

期間中に定期積金を**新規**お申込みしていただいた方に

「生活応援セット」をプレゼント！！

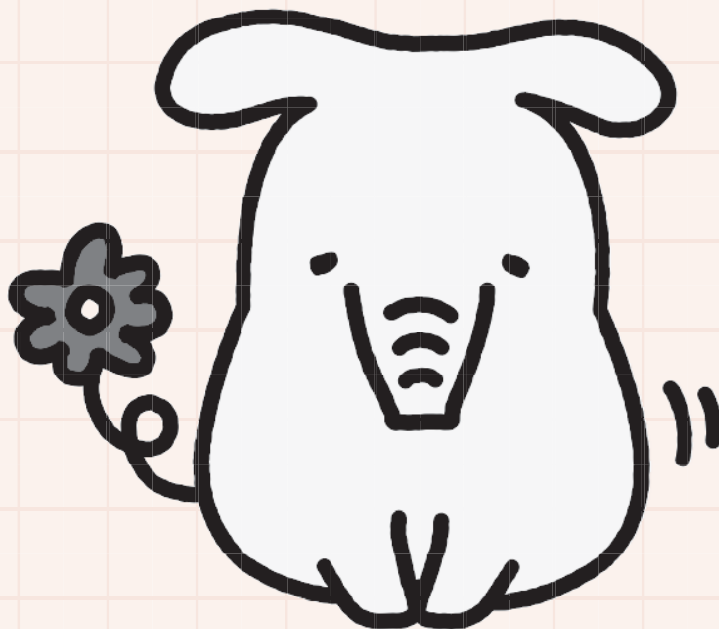
～契約条件～

- ① 校納金口座から振替していただいた方のみとなります
- ② 契約期間：2年以上 掛込金額：5,000円以上

詳しくは JA みづま 金融共済部まで

住所：久留米市三潞町田川 211 TEL：0942-64-2212

なにとぞう...



©よりぞう

12/15

女性部が手作りマドレーヌを配布

女性部は本所で来店者に手作りマドレーヌを配りました。

これは女性部が、地域の方とのふれあいの場づくりとして企画したもので、前日から女性部役員が約170個を焼き、準備していました。

来店者からは「とてもおいしそう。帰って食べるのが楽しみ」等の声を頂きました。

女性部担当者は「昨今は新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の方々とのふれあいが減っている。今後も女性部として、ふれあいの場づくりを続けていく」と話しました。



12/15

女性部がスマートフォン教室を開講

女性部は本所でスマートフォン教室を開きました。

これは女性部員から「スマートフォンをもっと活用したい」と声があったため実施したもので、携帯電話販売店から講師を招き、8名が参加しました。

参加者は実際にスマートフォンを操作しながら、電源の入り切りやマナーモード設定、LINE等の使い方について学びました。およそ1時間の講習のあと、参加者からは「まだ知りたいことが沢山ある。2度3度と開いてほしい」との声が挙がりました。

女性部担当者は「部員が少しでもスマートフォンへの扱いに慣れて、生活や交流の場での手助けになれるよう、今後も定期的に教室を計画する」と話しました。



12/19

子どもたちがタマネギ苗の定植を体験

特産課は大津正治さんの圃場で、犬塚小学校2年生79人の子どもたちにタマネギ苗の定植を指導しました。

子どもたちは1時間で約3,000本の苗を植え付け、「大きなタマネギを収穫できるのが楽しみ」と期待に胸を膨らませました。

小学校では毎年、食農教育の一環として地元の農作物への関心を高めるため、タマネギ苗の定植や収穫体験、集荷場見学を行っています。

担当者は「体験学習で少しでも農業に興味を持ってもらいたい」と話しました。



12/29

正月用品特売会開催

資材課は本所駐車場広場で正月用品特売会を開催しました。

しめ縄や松竹梅・しだ・もち類等の正月用品の他、みづまの里農産物直売所の会員が作った新鮮野菜や加工品、蒸したておこわ、三潅産のイチゴ、手羽先と手羽元の唐揚げ等の販売を行い、多くの来場者で賑わいました。

特売会は毎年行っており、晴天にも恵まれ好評のうちに終了しました。



1/10

西田伸さんが新規就農者にアドバイス

イチゴ農家の西田伸さんは、新規就農者、就農予定者の視察を受入れました。

久留米市担い手育成総合支援協議会（久留米市、久留米市農業委員会、久留米普及指導センター、JAみづま・にじ・みい・くるめ・福岡大城）は、新規就農者が早期に経営安定の基礎的な技術を身につけることや、地域の農業者との交流、情報交換の機会を設けることを目的に、毎年「新規就農者のつどい」を行っており、新規就農3年目の西田さんに視察依頼がありました。

新規就農者8名（就農予定者を含む）が参加し、西田さんが新規就農して苦労したこと、作業効率向上に向けて取り組んだこと等について参加者が質問をし、西田さんはこれまで害獣被害に遭ったことや、品質、安定出荷、作業効率を図るために、土づくりの見直しを行ったことについて話しました。

西田さんは最後に「わからないことがあれば気軽に相談できるよう、地域農家との交流を深めることが大切」とアドバイスを送りました。



農業用廃プラスチック類回収のお知らせ

2月27日にカントリーエレベーター駐車場で農業用廃プラスチック類の回収を行います。
農業用廃プラスチック類は適正に処理を行い、環境保全とリサイクルに取り組みましょう。

【回収日時】令和5年2月27日(月)13:00~15:00

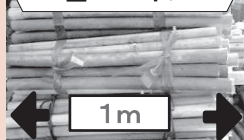
【回収場所】カントリーエレベーター駐車場

農業用廃プラスチック類(その他)



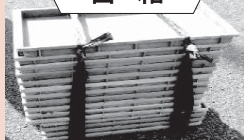
・カンスイチューブ ・ブルーシート ・パオパオ ・寒冷紗 ・遮光ネット ・牧草シート ・空フレコン
・網 ・サイロラップ ・苗箱 ・コンテナ ・アゼシート ・農薬ボトル(空) ・ポット、ポットレー
・パッカー ・バンド ・パイプ ・アゼ波板 ・タンク ・肥料袋(編み目素材)...

塩ビパイプ



上記のように結束する

苗箱



タンク



切断して結束する

農薬容器



中を洗い袋にまとめる

ポット



まとめる

【注】塩ビパイプは1mの長さに切断し、きちんと結束してください。
長いままでは引き取れない場合がありますのでご了承ください。

持込み禁止

・金属 ・木材 ・ガラス ・一般家庭ゴミ ・ビールケース
・ゴム(ファンベルト、タイヤ類) ・灯油、軽油等で使用したポリタンク

※持込の際は、種類別に分けて降ろしてください。
回収日に混雑する恐れがあるので、荷降ろしがスムーズにできるよう持込む前の準備として、
積み込む際の分別、保管される場合の分別等を各自よろしくお願い致します。

ご協力をお願い致します！

※詳しい内容につきましては、農事組合長会等で資料を配布いたしますので、そちらをご確認ください。

【お問い合わせ先】

久留米市三潆町農業用廃プラスチック等適正処理推進協議会

<事務局> 三潆総合支所産業振興課 TEL:0942-64-2315

JAみづま 特産課 TEL:0942-64-2213

今年は自宅でスマホを使って申告してみませんか？

申告書の作成は
こちらから



動画でチェック！
作成方法はこちらから



確定申告会場でも操作方法を案内しております。

◆◆会場への入場には「入場整理券」が必要です◆◆

配付方法・LINEアプリによる事前発行
(来場希望日の10日前から申込可能)
・会場で当日配付

申告会場 久留米税務署
久留米市諏訪野町2401-10

設置期間 令和5年2月8日(水)から3月31日(金)まで
※申告・納期限とは異なりますのでご注意ください。

受付時間 午前9時から午後4時まで



手軽に健康 手指体操

健康生活研究所所長●堤 喜久雄

手指を反らして、心身の調和を図る

体は前後左右どこかに偏った動きをしていると疲労を招き、さまざまな不調が起きやすくなります。手指の動きも同様です。手の指は内側に向かって動きやすいため、反対の手の甲側に反らす動きは意識しないとなかなかできません。手指の動きは体全体だけでなく脳にも影響を与えるため、手指の動きのバランスを整えることは、心身を整えることにもつながります。

今回ご紹介するのは手指反らし体操です。簡単かつ効果の高い体操なので、ぜひ覚えてくださいね。この体操は時間も場所も選びません。仕事終わりや就寝前などに行って1日頑張った手指をケアしましょう。また、朝の起床時にもお勧めです。寝ている間に硬くなった全身を伸ばし、脳にも良い刺激を送ることができます。

左右の指先を付けて反らす

STEP1 基本の動き



(1)両手の指の間を開いた状態で、指先同士を軽く付けます。



(2)両手指にぐっと力を入れ、指先から指の付け根までくっつけたまま反らします。このとき、10秒ほどかけて息を吐きながら行います。

(3)(1)に戻り、(1)と(2)を1回1秒のペースで30回繰り返します。

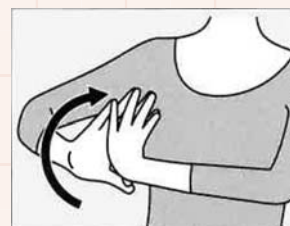
ポイント

手のひら同士はくっつかないように意識しましょう。

STEP2 応用



(4)(1)の状態から手首を外向きに倒し、親指が上を向く状態にします。そのまま手首を手前に倒し、小指が上を向く状態にします。10回ほど繰り返します。余裕があれば、指先に力を入れて反らしてみましょう。



13の人権の課題

その2

★女性

男女の役割を固定的に捉える古い意識が、家庭や職場にさまざまな男女差別を生む原因になっています。女性というだけで社会参加や就職の機会が制限されることがあってはなりません。男女が平等に能力と個性を発揮できる社会を、共につくっていきましょう。

年金感謝デー

本所金融窓口では2月15日から21日にかけて、年金感謝デーを行います。
JAみづまで年金をお受取りの方で、期間中に年金受取貯金通帳をご持参頂
いた方に、抽選で「バスギフトセット」を進呈します。ぜひご来店ください。

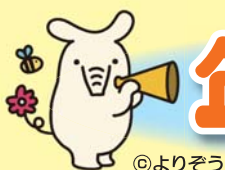
寒い冬にピッタリの入浴剤で日々の疲れをゆっくり癒してはいかがでしょうか？

【開催期間】 令和5年2月15日(水)～21日(火) ※土日は除く。

【 場 所 】 本所貯金窓口

【 賞 品 】 バスギフトセット

【お問い合わせ先】 金融共済部 TEL:0942-64-2212



年金無料相談会

ＪＡの年金相談会では専門家（社会保険労務士）がお一人お一人に合わせて年金に関する相談や手続きのお手伝いをしております。

日程・会場のご案内



【開催日】令和5年2月19日(日)

【開催時間】9:00~16:00

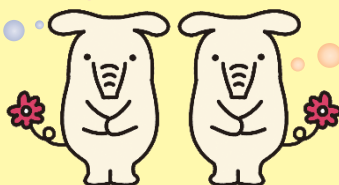
【開催場所】本所

私の年金はいつからもらえるの？

遺族年金をもらっているけど、自分の年金の手続きはどうしたらいいの？

退職後も
働くつもりだけど、
年金はどうなるの？

年金を早く
受け取ったら
どうなるの？



【お問い合わせ先・ご予約先】 金融共済部 TEL:0942-64-2212



三潁町農業協同組合

〒830-0102 福岡県久留米市三潞町田川211
ホームページ: www.ja-mizuma.or.jp

お問い合わせ

(0942)

64-2211